

# 令和4年第2回富谷市議会定例会

## 一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	7	浅野 直子
2	菊池 美穂	8	渡邊 清美
3	長谷川 る美	9	若生 英俊
4	畑山 和晴	10	安住 稔幸
5	渡邊 俊一	11	藤原 峻
6	出川 博一		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	5月24日(火)
受付時間	9:10

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 市の企業誘致の意義と成田二期北用地の環境整備について

【質問要旨】－簡明に－

本市総合計画の基本構想において、将来像を、「住みたくなるまち日本一」100年間ひとが増え続けるまちと位置付けております。

企業誘致は、新たな雇用の創出と地域産業の集積の形成、法人税・固定資産税等の市税の増収、U I ターンによる定住者の増加による人口増も見込める等、市の発展に大きな役割を果たしています。

本市のこれまでの人口の伸びは計画的な宅地開発と併せた、積極的な企業誘致の展開によるものが大きく、現在の人口増加は企業誘致によって成し遂げられた側面もあるものと認識しています。本市はこれからも、このまま企業誘致を継続し続けて行かなければ、これまでのような成長、発展は望めません。

本市の継続した活力維持には、雇用の創出に掛かっており、企業誘致の滞りは許されません。そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 企業誘致を継続していくための本市の戦略について。
- 2 工業用地の高屋敷西、成田南の誘致企業予定の進捗状況について。
- 3 成田二期北工業用地の企業誘致を効果的に進めるための環境整備について。
  - ① 当該工業用地の分割見直し、及び造成計画について。
  - ② 県を介し、黒川圏域内の自動車関連企業や半導体企業等、大型生産企業との連携を。
  - ③ 成田二期北工業用地の造成・稼動までの間の、高屋敷西、成田南に続く工業用地の確保について。
  - ④ 成田二期北工業用地の名称を、明るく夢のあるネーミングに変更する検討を。
  - ⑤ 地権者及び金融機関等とネットワークを生かした企業誘致の取り組みについて。
  - ⑥ 仙台北部道路のフルジャンクション化と併せて、成田二期北工業用地に直結したスマートインターの設置について。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括・ 一問一答

No. 2 質問件名 今後の効果的なワクチン接種の在り方と、ウィズコロナの  
本市の対応について

---

【質問要旨】－簡明に－

令和2年1月下旬に指定感染症、新型コロナウイルス感染症と指定されてから、ウイルスとの闘いは3年目に入りました。

現状は、感染者数は多いものの重症者数は少なく、新規感染者数は大都市圏で減少傾向です。一方で本市を含めた地方都市で高止まりの傾向が見られます。そこで、今回4回目の接種については、高齢者等が限定となっておりますが、これからの年齢層毎のワクチン接種の在り方について伺います。

一方で、新型コロナが発生してから、2年余りの経験から、ウイルスの特徴や感染予防対策への考え方は、ある程度、分かって来ており、今後は、社会経済活動に重きを置こうとしている状況にあります。本市においては、感染者は高止まり状態ですが、日常を取り戻して行くという観点から、マスク着用、飲食等々、ウイルスと共に生きていく事を前提に、生活や暮らしそのものを大きく変える必要があると思います。

そこで、ウィズコロナの考え方についての見解を伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 ワクチン接種は、これまで幅広い年齢層を対象に進めて来ましたが、4回目接種は高齢者等の限定とされていますが、見解をお伺いします。
- 2 5歳から11歳までの小児者の接種状況と課題について伺います。
- 3 若い世代の3回目接種のスピードアップと、終了時期の明確化を。
- 4 日常を取り戻すための本市の対応について。
  - ① 政府が発表したマスク着用基準の緩和に関し、市の見解とその対応について
  - ② 県において飲食の人数制限が解除されましたが、本市の行動制限の緩和は。
  - ③ ウイルスと共に生きる事を前提に、どのようにしてウイルスと共生すべきなのか、生活や暮らしそのものを大きく変えるウィズコロナの考え方について、本市の見解を。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	5月24日(火)
受付時間	9:20

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 2 番 菊池 美穂

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 路面下空洞調査の実施を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

私たちの暮らしを支える交通インフラには、目に見えない多くの危険が潜んでいます。安全な道路交通を阻害する陥没事故、老朽化による橋梁などコンクリート構造物の劣化、電気・水道・ガスなどライフライン設備の維持管理工事を困難にする埋設物等が挙げられます。

全国的に進む、道路や橋梁等の交通インフラの老朽化に起因する事故は、交通機能や社会生活に大きな影響を及ぼすだけでなく、人的被害に繋がる事故も多く、国土交通省では、道路陥没発生件数とその要因について調査結果を公表しています。

このことから、交通インフラの異常を早期に発見する、路面下空洞調査等のインフラ点検の重要性が高まっています。計画的な点検によって不具合をいち早く見つけ、損傷が少ないうちに修繕を行う、予防保全型の維持管理が重要であると考えます。

また、交通インフラは災害時には、消防や救急、避難所等への物資輸送を担う、命の道路となります。道路陥没は自然災害に起因することも多く、地震や台風、ゲリラ豪雨などが頻発化する現在、平時から目に見えない路面下の状況を点検し、命の道路を確保することが大変重要であると考えます。

以上のことから、路面下空洞調査の必要性や重要性を、どのように認識されているのか、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷市の道路実延長と、緊急輸送道路延長、その構成比率は。
  - 2 病院や学校、福祉施設などの周辺道路の安全確保は、防災・減災のうえで重要課題と捉えます。そういった市内の重要路線をどのように位置付けているのですか。
  - 3 予防保全型のインフラ点検の必要性について、見解は。
  - 4 路面の下に潜む空洞による危険性について事前に把握し、適切な対策を講じるため、路面下空洞調査を実施していくべきと考えますが、見解は。
- 

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	5月24日(火)
受付時間	11:33

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式  ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 ヤングケアラーについて

---

【質問要旨】－簡明に－

厚生労働省によりますと、ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。その子どもの年齢相応の役割や、責任よりも負担が大き過ぎる場合、同年代から孤立し、勉強、クラブ活動、就職活動など、その年代ですべき経験が不足することで心身の発達や人間関係、社会生活、家庭生活、人生設計等に大きな影響を及ぼすと言われていています。国ではこのことを重くとらえ、孤立しがちなヤングケアラーを早期に発見して支援につなぐ取り組みが予算化される事になりました。

ヤングケアラーの支援には、福祉、教育などさまざまな観点からのフォローが必要であり、より一層横断的かつ総合的にこの「ヤングケアラー」の課題解決のために取り組んでいくことが重要であると考え、以下質問いたします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」について、どの様に受け止めていますか。
- 2 本市におけるヤングケアラーの実態と、このことに対する認識は。
- 3 ヤングケアラーにあたる児童生徒等と考えられる場合、本人や保護者にその認識を促すための普及啓発は。
- 4 ヤングケアラーに対する学校の認知及び把握について。
- 5 ヤングケアラー支援のための庁内横断的な連携について。

---

答弁を求める者 市長



議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	5月24日(火)
受付時間	12:00

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 7 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 これからの部活動の在り方について

---

【質問要旨】－簡明に－

5月17日の河北新報の社説でも取り上げられていましたが、部活動の地域移行についてスポーツ庁の有識者会議が、部活動の「地域移行」を2023年から2025年度の3年間で達成するとの目標を盛り込んだ提言案を示しました。

部活動の問題に関しては以前より、顧問の負担増、生徒が集まらず部活動が難しい部、本当はこの種目をやりたいのに、その種目が学校にないなどの問題があります。

本市では、このような状況をどう捉え、対策をしていくのか早い段階で示していく必要があると思います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 スポーツ庁が示した「地域移行」に関して、本市の考えは。
- 2 現在、学校の部活動で入りたい種目がない場合、学区外就学を認めていますが、地元の学校に入りたいことから、諦めている生徒もいると思います。その際の新たな道筋を作ることが必要と思いますが、見解は。
- 3 「地域移行」の提言案を踏まえ、人数が少ない種目が学校同士の話し合いの中野球であれば富谷中、ハンドボールであれば成田中などと、その年度ごとに合同チームを作るよりも効率よくスムーズに運営できるのではと思いますが、見解は。
- 4 「地域移行」の中で、クラブチームも中総体に参加できることも示されています。クラブチームにすることで、保護者や地域の方も参加しやすくなり、顧問の先生の負担も軽減されると思います。部活動のクラブチーム化についてはどのように考えているのか、見解は。

---

答弁を求める者 教育長

議員名	畑山 和晴
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 児童への自転車ヘルメット購入補助について

---

【質問要旨】－簡明に－

宮城県の条例で、自転車ヘルメット着用は努力義務となっております。努力義務なので被っても被らなくても問題はないということになります。しかし、ヘルメットを被っていれば死亡事故にならなかったというケースがあり、また、怪我の程度が軽減されたという結果も報告されています。

先日、大和警察署に伺った際、ヘルメット着用の強化をお願いしますと要望されました。地域でも学校でもヘルメット着用に関し、しっかりとした教育と啓発活動は行っていますが、中々着用率アップには繋がっておりません。

行政の積極的な関与が必要と思います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 全国でも多くの自治体で自転車ヘルメット購入補助を行っていますが、本市では検討されたことはありますか。
- 2 小学校入学時に、入学祝い品として自転車ヘルメットを贈ることも一つの考えだと思いますが、見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	5月24日(火)
受付時間	14:50

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式  一括方式 ・  一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 児童・生徒の食育について伺う

---

【質問要旨】－簡明に－

食育は、生きる上での基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものであり、様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものであると言われております。

特に子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものと、食育基本法にも明記されております。

子どもの食育における保護者、教育関係者の役割として、食育基本法、第五条に、食育は、父母その他の保護者にあつては、家庭が食育において重要な役割を有していることを認識するとともに、子どもの教育、保育等を行う者にあつては教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子どもの食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行わなければならない。また、第六条に、食育は、広く国民が家庭、学校、保育所、地域その他のあらゆる機会と、あらゆる場所を利用して、食料の生産から、消費等に至るまでの食に関する様々な体験活動を深めることを旨として、行われなければならないと定められております。

食育基本法に基づき学校教育に於いて、質の高い内容にて、食育推進を図る必要があると考えますし、子ども達の食の好き嫌いを、なくす対策も講じていかなければなりません。

その観点から捉え、次の4問にて質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 食育基本法に基づき学校教育としてどのような取り組みを行っておるか伺います。
  - 2 学校教育に於いての食育推進に関する施策の基本的な方針を伺う。
  - 3 学校教育に於いての食育推進会議を行っているか伺います。
  - 4 児童、生徒の食べ物の好き嫌い、特に野菜嫌いの子ども達への、学校教育の立場での対策をどの様に考えておるか伺います。
- 

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	5月24日(火)
受付時間	16:31

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月24日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式   一括方式   ・    一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 長い道のり ゼロカーボン戦略

【質問要旨】－簡明に－

2021年2月、本市は2050年までに地球温暖化対策に向けた二酸化炭素の排出量を「実質ゼロ」にすることを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

昨年8月に、2050年のゼロカーボンを達成するための本市の環境特性や再エネ等に関する調査・分析を行い、具体的な指標や再エネ導入目標、必要な施策等を盛り込んだ戦略を策定する業務を委託。その報告書として、「富谷市2050年ゼロカーボン戦略(概要版)」が公表され、広報とみや3月号でも特集が組まれました。

富谷市2050年ゼロカーボン戦略(概要版)について、以下の点について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 広報とみや3月号特集記事における市民の理解度と反響は。
- 2 総合計画前期基本計画では、令和2年度目標18.0%としましたが14.1%に留まりました。ゼロカーボンシティのためには、市民の行動変容が重要とされます。どのような方策が考えられるか。  
 ※ 総合計画指標「省エネルギーや環境保全に対する市民満足度の向上」  
 前期基本計画 H27年 13.6% → R2年 18.0%  
 後期基本計画 R2年 14.1% → R7年 18.0%
- 3 地球温暖化対策の推進に関する法律に定める地方公共団体実行計画「事務事業編」は策定済みか。
- 4 地方公共団体実行計画「区域施策編」において、どのような施策を示す予定か。
- 5 ゼロカーボンシティを表明していますが、その実現のための方策として、カーボンプライシングは考えていますか。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 富谷市複合施設について伺う

---

【質問要旨】－簡明に－

富谷市複合施設整備基本方針(2021/6月)における「事業手法の最適解」は、「施設整備には従来方式、または、DB(Design Build)方式を採用し、直営である図書館以外の一部施設に指定管理者制度を導入することが、相対的に有効な手段であると考えられる」と示されています。

富谷市民図書館等複合施設整備に係る事業手法について、以下の点について質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 3月25日開催の政策企画会議での決定事項は。
- 2 公的外部資金の調達見込みは。
  - ① 地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金(内閣府)
  - ② 都市構造再編集中支援事業交付金(国土交通省)
  - ③ 国のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)関連補助金  
(環境省、経済産業省、国土交通省)
- 3 ZEB(ゼブ)化による事業額の増嵩見込みは。
- 4 2月18日可決の補正予算(第14号)図書館等複合施設整備事業(29,253千円)の進捗状況は。
- 5 市議会「富谷市民図書館等に関する調査特別委員会」の要望事項中、「4.複合施設整備の早期竣工と整備スケジュールの遵守」に遅れはないのか。

---

答弁を求める者 市長



議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 ラスパイレス指数 なぜ低いのか

---

【質問要旨】－簡明に－

富谷市は2016年10月10日市制に移行し、今年で6年目に入りました。  
宮城県内での類似団体（類型Ⅱ-3）である塩釜市・名取市・多賀城市・富谷市の「職員の給与・定員管理等について」（毎年各自治体が公表）の定例報告を比較した状況について、以下の点について質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 本市職員数の増加とその背景、及び今後の人員管理（職員数の増減）の考え方は。
- 2 本市のラスパイレス指数は、類似団体比でなぜ低いのか。  
※ 令和3年4月1日基準比較（市町村コード順）  
塩釜市 97.2 名取市 96.0 多賀城市 93.2 富谷市 92.9
- 3 地域手当のばらつきがあるが、地域手当の決定方法は。  
塩釜市 0% 名取市 3% 多賀城市 10% 富谷市 6%
- 4 コロナウイルス感染症対策等での本市の対応は、称賛に値するものと評価しているが、市職員給与の底上げを図る方策はないのか。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	5月25日(水)
受付時間	10:34

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月25日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 17 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 環境対策と熱中症予防について

---

【質問要旨】－簡明に－

本市の環境問題に対する取り組みは、先進的に地球環境に貢献するまちづくりを推進し、2021年2月に2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」が宣言されました。世界的に気候変動による地球環境は気温の上昇と共に大きく変化し、夏の気温の上昇により熱中症対策として公立学校全体へエアコン設置が推進されました。そのような中で、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減に向けた取り組みとして、ペットボトルやプラスチックごみなどの削減にマイボトル推進の啓発なども行われています。

このような熱中症予防や環境対策の視点から、「みやぎ環境交付金事業」の「気候変動の影響への対応」のメニューを活用し、公共施設等に冷水給水器を設置し、マイボトルで使用できるような給水スポットを設けることと併せ、マイボトルの普及を行うことにより、環境にやさしいまちづくりやSDGsの推進が図られるものと考えます。

以上により、今後の本市の熱中症対策やペットボトル等削減について質問します。

---

【質問項目】

- 1 「みやぎ環境交付金事業」に記載の「気候変動の影響への対応」メニューでは、給水器等の設置が可能となっています。本市の考え方と今後に向けた取り組みを伺います。
  - 2 ペットボトルやプラスチックごみ削減を図るための、市民に対する取り組みについて、市の見解を伺います。
  - 3 熱中症対策として、「とみやど」や「スポーツセンター」など、特に人々の集まる場所へ、給水スポットを設置し、マイボトルの推進を進め、環境にやさしいまちづくりをさらに進めるべきであると考え、市の見解を伺います。
  - 4 今後、公共施設等の新設やリノベーションの際には、車いすなどでも対応できる給水器の設置を行い、福祉向上にも寄与すべきであると考え、市の見解を伺います。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 地方創生臨時交付金活用について

---

【質問要旨】－簡明に－

新型コロナウイルス感染症の長期化、そして本年2月末以降のウクライナ危機により、原材料価格が値上がりしています。4月には、政府が輸入小麦を17.3%値上げしたところでもあり、食材費の値上がりが一層懸念されます。

そこで、学校給食の食材調達の現状と、食材費と予算のバランス等を含めた今後の見通しについてお伺いします。

また、文部科学省より、物価高騰による給食費値上げを抑えるために、地方創生臨時交付金を活用できることが発出されていますが、本市の考えをお伺いします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 学校給食の現下の状況について、食材の調達や食材費と予算のバランスについて伺います。
- 2 学校給食費等の地方創生臨時交付金の活用について見解を求めます。
- 3 食材の安定供給のために、地元産食材の拡充に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。
- 4 地方創生臨時交付金について、今後の市の取り組み計画について伺います。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	5月26日(木)
受付時間	9:48

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 介護保険について

---

【質問要旨】－簡明に－

2025年には、団塊世代が75歳をむかえ、国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎えます。

介護保険利用者の増加、急激な介護保険料の増額も考えられます。

高齢になり住居の確保(保証人等が居ない事で、アパートの契約が出来ない)が難しい、高齢の親を呼び寄せ、市内の高齢者施設へ入所をさせたいとの声も聞かれます。

今後、高齢者施設への入所希望者の増加も考えられます。

また、65歳以上の認知症は、2025年には約700万人と予測され、認知症に対する取り組みがますます重要になります。

高齢者や認知症になっても安心して暮らし続けられるまちの実現を目指し、条例の制定も必要と考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 介護保険料の負担が大きくなっています。介護保険料の所得段階別保険料額の区分の考えは。
  - 2 市内の高齢者施設への入所希望者が増加しています。今後の施設の増設をどのように考えているのか。
  - 3 介護施設職員の確保、定着についての市の取り組みは。
  - 4 高齢者の住居の確保が難しくなっています。対策が必要と考えますが市の見解は。
  - 5 認知症の人への支援の充実が必要では。
    - ① 認知症SOSネットワークシステムの登録状況は。
    - ② 個人賠償責任保険及びQRコード付き見守りシール等への補助の検討は。
  - 6 「認知症の人と家族の会」から課題、問題点はあげられていないのか。
  - 7 高齢者や認知症の人を支えるための条例の制定が必要では。
- 

答弁を求める者 市長

---

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 障がい福祉の充実

---

【質問要旨】－簡明に－

障がいがあっても富谷で住み続けられる環境整備、親なき後の居住の確保が必要です。

市内でグループホームに入所したい、医療的ケアがあり、入所できるグループホームがない、就労場所が市内に必要との声も聞かれています。

また、家庭内の問題であり、本人も家族も自覚がなく表面に表れにくいヤングケアラーが今、全国的にも問題になっています。

これらのことについての早期の発見、悩みの相談、福祉サービスへのつなぎ等支援体制の整備が必要です。

障がい者等の支援を充実する事は、ヤングケアラー問題の解決にもつながります。

以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 市内にグループホームを増設する考えは。
- 2 医療的支援が必要な人の入所できるグループホームを新設する考えは。
- 3 市内への就労継続支援A型の事業所拡充のための取り組みは。
- 4 ヤングケアラーへの支援をどのように考えているのか。
  - ① 問題が表面化しにくいヤングケアラーの把握のための施策は。
  - ② 学校、医療機関との支援体制の構築が必要では。
  - ③ 本人や家族が相談しやすい体制作りが必要では。
  - ④ 家族への専門的支援体制の構築が必要では。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	5月26日(木)
受付時間	9:53

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。



議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 富谷市民図書館等複合施設整備の進捗を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

これまで、富谷市民図書館等複合施設整備に関し、令和3年第4回定例会市長挨拶では、「事業手法の決定及び業者選定につながる内部調整を進めている。検討結果について議会に説明する。」令和4年第1回定例会施政方針では、「基本設計業務経費を2月補正予算に計上し、令和4年度中の業務完了を目指し、事業者の選定等を進める」と説明があった。

議会では令和3年10月、富谷市民図書館等に関する調査特別委員会の要望事項として「3 長期的な視点に立ち、より経済性のある施設運営を図ること」を求めている。

複合施設整備の事業手法の決定や事業者選定につながる検討結果の説明が不十分のまま、基本設計業務に入っている。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 複合施設整備の事業手法は。
- 2 基本設計業者選定から決定に至るまでの経緯は。
- 3 施設整備にあたり、民間活力の導入は十分図られているか。
- 4 令和2年第1回定例会後の外部資金調達の継続的な取組と調達額は。
- 5 経済性のある施設運営と感染症拡大防止の観点から、児童屋内遊戯施設に関し、どのような課題が整理されているか。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 本市の農業の将来像と市民農園の早期開園を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

令和4年4月1日「農業組合法人アグリ今泉」が設立され、今期の営農が始まった。農家の高齢化や後継者の不在が深刻になっている昨今、地域農業の担い手として、壮年の年代の方が中核となって、地域農業の活性化のために歩みだしたことに、本市農業の将来に明るい兆しを感じる。

本市農業の中核はコメ生産にあるが、令和4年産米は、生産調整の強化と米価下落傾向により、コメ農家の収入はさらに減少することが予測されている。

自立した持続可能な農業経営のためには、農地の集積による一定規模以上の農地確保とコストダウンによる収入確保が不可欠である。

また、市街化調整区域内の有休農地を活用した土地賃貸型の貸農園から近隣自治体で好評の市民農園の早期開園が待たれる。以下、質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 本市農業の現状と本市農業の将来像は。
- 2 農地集積の現状と課題は。
- 3 園芸農業のさらなる強化策が必要では。
- 4 市民農園の検討状況は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	5月26日(木)
受付時間	11:21

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 15 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 デマンド交通の利便性の向上及び利用促進について

---

【質問要旨】－簡明に－

デマンド交通は、市民の移動手段、生活のクオリティ向上に欠かせないものです。

また、福祉施策の一つとして位置づけされるべきものと考えます。デマンド交通の利便性の向上は、市民の生きがづくり、強いては「まちづくり」につながるものです。

デマンド交通の利便性の向上、更なる利用促進を求め質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 利用実績は。
- 2 利便性の向上及び利用促進の方策は。
- 3 利用者からのアンケート調査の実施は。
- 4 利用地域におけるアンケート調査の実施は。
- 5 増車の検討は。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 市民への健康等に関する施策の充実について

【質問要旨】－簡明に－

男性に多い膀胱がんや前立腺がんの手術後、尿漏れパッドを使わざるを得ない人がいます。外出時には、尿漏れパッドを交換する必要がありますが、男性トイレの個室にはサンタリーボックス（汚物入れ）が設置されていません。公共施設の男子トイレの個室に、サンタリーボックスの設置が必要です。

母子健康手帳は、妊娠期から乳幼児期までの健康に関する重要な情報が、一つの手帳で管理できるものです。新生児の体重が2,500グラムに満たない状態で生まれてくる低出生体重児がいます。平均的な身長、体重に届かず、成長のペースも異なり、不安になる母親を応援する取り組みとして、リトルベビーハンドブックの発行が全国で広がっています。本市でも低出生体重児のための母子手帳「リトルベビーハンドブック」の発行に取り組むべきと考えます。

ICTを活用した子育て支援として、母子手帳アプリが多くの自治体で導入されています。導入により、自治体の情報が住民の手元に届きやすくなり、子育て世代が抱える孤独や不安の解消に貢献できるものと考え、本市としても導入すべきです。

子どもの視力は、6歳で大部分の子どもが大人と同じ視力を持つとされており、正常な発達が妨げられると弱視になります。視力の発達時期に早期治療を開始することで視力の大幅な回復が期待され、3歳児健診における適切な視力検査が重要です。3歳児健診での視力検査機器による検査に取り組むべきです。

マイナポータルを活用及びマイナンバーカードを活用した健康保険証への取り組みが進められています。本市としても、活用促進への取り組みが必要です。

【質問項目】－列 記－

- 1 公共施設の男子トイレ個室へのサンタリーボックスの設置は。
- 2 低出生体重児へのリトルベビーハンドブックの発行は。
- 3 母子手帳アプリの導入は。
- 4 3歳児健診での視覚検査機器の導入は。
- 5 マイナポータルを活用及びマイナンバーカード健康保険証への取り組みの推進は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	5月26日(木)
受付時間	11:59

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 5月26日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	藤原 峻
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 子育て支援策の更なる強化を

【質問要旨】－簡明に－

令和3年度の人口動態統計によると出生数は20年度と比べ1.3%減、14年連続の減となり、過去最小を更新しました。富谷市の総世帯数は毎年増えていますが、総人口は減少傾向にあります。令和3年3月末と比べ、令和4年3月末での人口は微増でしたが、特に子どもの数が著しく減少しています。例えば、0～4歳の推移を見ると、平成23年3月末で2,775人、平成30年3月末2,398人、令和4年3月末1,958人。

兵庫県明石市は、「こどもを核としたまちづくり」を行い、9年連続で人口が増加。特に子育て層が増加し、中核市で増加率1位。明石市独自の5つの無料化が実施されるなど、子どもに関する予算を倍以上にし、子どもを担当する部署に専門職を配置、職員数も3倍以上に増やしています。富谷市も「こどもにやさしいまちづくり宣言」を行い、子育て支援策は着実に、年々充実しています。更なる子育て支援策の強化を検討する時ではないでしょうか。

【質問項目】－列記－

- 1 子育て支援策について、更なる思い切った予算措置が必要では。
- 2 結婚祝い金、出産祝い金の検討は。
- 3 「おむつ定期便」のような「赤ちゃん用品支給事業」を実施してはどうか。
- 4 こども医療費の一部負担はなくすべきでは。
- 5 中学校の給食費を無料にしてはどうか。また、給食のボリュームが足りない、という声も聞かれます。市の予算を増やし、給食を充実させる考えは。
- 6 NPOなどと連携し、こども食堂を全小学校区に広げる考えは。また、国の「生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム整備」を実施しては。
- 7 明石市を参考に、不育症の検査及び治療への独自拡充の考えは。
- 8 明石市を参考に、「すべてのこどもが家庭的な環境で安心して暮らせるよう」まちをあげて里親プロジェクトを検討しては。

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 富谷市2050年ゼロカーボン戦略の具体策は

---

【質問要旨】－簡明に－

世界的な気候危機への対策は急務です。富谷市では、「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言しました。2050年ゼロカーボン戦略では、13の戦略が出されています。広報とみや2022年3月号でも特集が生まれ「2050年までに更なる再生可能エネルギーの導入や、まち全体の省エネルギー化を進め、二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指します」「市民・事業者・行政など、まち全体で取り組まなければ達成できない目標です」とあり、推進役として市の役割は大きなものです。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 ゼロカーボン戦略は重要な施策です。市の取り組みとして、再エネ・省エネに関する専門家を職員として配置する必要があると考えるが、市としての見解は。
- 2 再エネ促進区域についての考えは。
- 3 事業実施にあたり、国の予算を活用する考えはあるか。
- 4 大規模太陽光発電導入に関しては、自然破壊や災害誘発の懸念もあり、アセスメント、地域住民への説明が重要です。市としての見解は。
- 5 地域新電力事業等の構築はどのように進めるのか。
- 6 家庭部門における取り組みとして、再エネや省エネの設備の導入は重要な課題となります。市としての補助の考えは。また、リフォーム助成を検討する考えは。
- 7 産業部門や業務部門における再エネ・高省エネ設備の導入促進策の検討状況は。

---

答弁を求める者 市長